

第2期 港南区地域福祉保健計画

テーマ4 地域のつながり・交流の場づくり と

テーマ8 地域で子育て支援・青少年育成

の取り組みを紹介します!

テーマ8 地域で子育て支援

子どもは地域の宝!地域のでそだてよう ～親子と地域のつなぎ役“こんにちは赤ちゃん訪問員”～



4か月までの赤ちゃん宅へ

赤ちゃんが生まれていよいよ子育て、楽しみなことたくさんある一方で不安や疑問もたくさんでてくるのが子育てですね。区内ではいろいろな場所で子育て支援活動が盛んにおこなわれていますが、周囲から孤立して不安な毎日を送っている親子もいるのが現実です。

こんな時に玄関先にお邪魔して、身近な場所で行われている赤ちゃん教室や子どもと一緒に参加できる行事、必要な相談ができる窓口などの情報をお届けするのが“赤ちゃん訪問員”です。

子育ては大変だけど、
地域の中で一緒に
育てていきましょうね。

子育てに役立つ
情報をお土産に
持ってきましたよ。

何か心配事は
ありませんか?



赤ちゃん訪問員



区内では
52人が活躍

訪問員ってどんな人? 訪問活動はどうやっているの?

区内の民生委員・児童委員、主任児童委員、子育て支援者などが訪問員として市長から委嘱され、各種研修や連絡会などを重ねつつ活動しています。実際の訪問では、事前に電話連絡をして日時を約束したうえで訪問します。また、必ず「訪問員証」を携行して身分を明らかにしています。

訪問時には、地域の子育て支援活動の情報を掲載した冊子やチラシを渡して参加を呼びかけたり、困った時の相談窓口を教えたりします。また、訪問員に「赤ちゃんかわいいね」と言われたり、お話ししたりすることでお母さんもほっとして明るい気持ちになるようです。

訪問の問合せ・ 子育て相談の連絡先は?

港南区福祉保健センター
こども家庭係

電話 847-8439

ファクス 845-9809

訪問員から

- 近所に知り合いがなくて困っていた人に赤ちゃん教室を紹介したところ、のちに「参加することで友だちができた」と、とても喜ばれました。地域の中で子育てをしていける“つなぎ”が大切と感じています。
- 訪問後に近所の公園やスーパー、町内会の夏祭りなどで会うことがあります。お互いに声をかけあい、赤ちゃんの成長する姿をみて喜びあえることができた時、私もうれしくなりました。
- 子育てに不安を持っている母親が少しでも安心して楽しい子育てができるように、と思って訪問しています。
- 周りに知り合いがいない中で子育てしている人もいます。子育て中の母親を見かけたら一声かけてみてください。

「港南区地域福祉保健計画」はもう御存じですか?

「港南区地域福祉保健計画」はもう御存じですか? 誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、みんなが協力して地域の中でお互いに支えあえる関係をつくることを目指す計画です。

そして、この計画の方向性を右図の8つのテーマで示しています。

地域全体テーマ

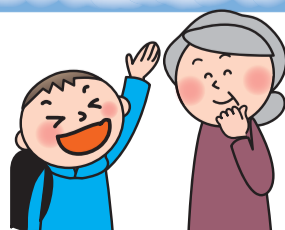
テーマ1 活動の周知・情報共有

テーマ2 活動のネットワークづくり

テーマ3 担い手・人材の発掘

テーマ4 地域のつながり・交流の場づくり

日頃の声かけから!
顔の見える関係で
お互いに支えあえる
まち



分野・対象者別テーマ

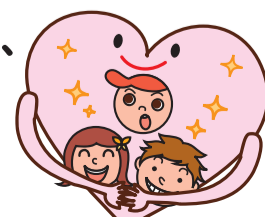
テーマ5 健康づくり

テーマ6 地域で高齢者の支援

テーマ7 地域で障害児・者の支援

テーマ8 地域で子育て支援・青少年育成

地域の人々がつながり、
子どもや青少年を育て
あえるまち





テーマ4 地域のつながり・交流の場づくり

小さなきっかけから生まれた地域のつながり ～こんななつっこ【学齢障害児夏余暇支援事業】vol.2



ひまわりのわ第2号でも紹介した「こんななつっこ」。今年も、港南台ひの特別支援学校と区内3か所の地域ケアプラザを会場に、たくさんの障害児の親子が参加し、充実した夏休みを過ごしました。

今回は、たくさんのボランティアのみなさんと障害児の親子と一緒に過ごした時間の中で生まれた、うれしいエピソードを紹介します。



朝の会 ～今日1日、楽しい遊びが盛りだくさん!～



ホットプレートでトースト作り。美味しくできるかな?

今年初めて会場になった東永谷地域ケアプラザでお手伝いをしてくれたボランティアは、「てまり」と「クリンチ・クリンチ」のみなさん。

「てまり」は東永谷地域ケアプラザを拠点に高齢者の配食サービスを毎週行っているグループです。

なつこの時には、日頃のワザを生かして子どもたちの調理をサポート。食材の下ごしらえや食器の準備・片づけを行う傍ら、子どもたちが調理する姿を温かく見守っていました。

工作や歌の時間にお手伝いをしてくれた「クリンチ・クリンチ」のみなさんは、いつもはデイサービスで高齢者と一緒に楽しい楽器で演奏したり歌ったりという活動をしている音楽のボランティアグループです。この日も歌や踊りを一緒に楽しんだり、ペットボトルを使ったマラカスづくりのサポートをしたり、大活躍の一日でした。

さらに、なつこにボランティアとして参加した縁で、障害者が作業所へ通所するときの付き添いを始めた方もいます。一つのボランティア活動がきっかけとなって新しい活動が生まれる・・・、とても素敵なことだと思いませんか。

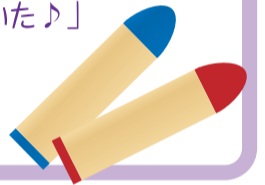


この「なつっこ」の主催者である港南区社会福祉協議会には「ボランティアセンター」という、ボランティアをしたい方と、して欲しい方をつなぐ窓口があります。ぜひ、お気軽にご相談ください!!

問合せ 港南区社会福祉協議会 TEL 841-0256

また、地域ケアプラザでも地域のイベントやデイサービスなどのボランティアを募集しています。

「なつっこ」に参加したボランティア同士の中でも、「10数年ぶりの再会を果たした!」という方や、「当時、子どもだった子が立派な大学生になっていて、成長を見ることが出来た!昔話に花が咲いた♪」などの、以前とは違った、新たなつながりが出来たようです。



小学校の体育館に集まった地域のみなさん

テーマ8 地域で青少年育成

地域から「いじめ」をなくす第一歩

～ひざり地区社会を明るくする運動ミニ集会「いじめ問題を考える」～



学校、家庭、子ども、そして地域みんなで、「いじめ問題」をなくそう!と、平成24年9月26日に日限山小学校で「ひざり地区社会を明るくする運動」ミニ集会が開催されました。会場には小中学校に通うお子さんの保護者や、いじめ問題に関心のある地域の方など約100人が集まりました。

パネリストの日限山小学校と日限山中学校の校長、保護司、港南警察署日限山駐在所の所長からは、子どもたちの学校での様子や教育現場の実態、いじめの実体験などが語られました。その後の会場の皆さんとの意見交換では、「いじめ問題を無くすために地域で何ができるか考えて来た」という方、「昔のいじめっ子(ガキ大将)は・・・」と昔の子どもたちの様子を話してくれた方など、**地域の子どもたちを守りたい**という、口をせずとも共通認識となっているこの思いから、様々な意見が発表されました。

学校、自治会、警察、保護者など、いろいろな立場の大人たちが一丸となって話し合い、考えることが、地域から「いじめ問題」をなくす第一歩になるのではないのでしょうか。

いじめ問題というと、学校や家庭の問題と思われがちですが、身近な周りの人の力が必要な時もあります。

いじめられている子は、親に言えなかったり、親もいじめがエスカレートするのを恐れて学校に相談できなかったり。そんな時、例えば、いじめられている子を見かけたら、「声をかけてあげる」「親に『こんなところを見た』と伝えてあげる」「いじめの相談機関の情報を提供してあげる」など、ささいなことでも、力になれることがあるのではないのでしょうか。将来、私たちの地域を担う子どもたちが生き生きと育つように地域、行政みんなで見守りましょう。

“社会を明るくする運動”とは?

すべての国民が犯罪や非行の防止と立ち直りについて考え、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない地域社会を築こうという運動で、全国で展開されています。ひざり地区では、連合町内会を中心に、保護司、更生保護女性会、民生委員・児童委員など社会的役割を担う多くの方々によって展開されています。

